



【共同リリース】

2022年12月6日

東京都中野区

ABBYY ジャパン株式会社

京都電子計算株式会社

トッパン・フォームズ株式会社

住民税収納業務のデータ入力を大幅効率化 AI-OCR 活用の業務改善で作業量を 30% 軽減

東京都中野区、有用性実証で地方自治体 DX 化モデルに

東京都中野区（区長 酒井直人、以下中野区）、ABBYY ジャパン株式会社（代表取締役社長 前田まりこ、以下 ABBYY ジャパン）、京都電子計算株式会社（代表取締役社長 森口健吾、以下京都電子計算）、トッパン・フォームズ株式会社（代表取締役社長 添田秀樹、以下トッパンフォームズ）は、共同で地方自治体の住民税収納の業務改善ソリューションモデルを構築し、これを導入した中野区で作業量を 30% 軽減、外部委託コストは 25% 削減を達成したことをお知らせします。中野区での本ソリューションモデルは全国の地方自治体でもほぼそのまま活用できるものとして、この知見を全国地方自治体の業務改善・DX 化に生かせると考えています。

今回、中野区は BPM（ビジネスプロセス・マネジメント）の手法を用いてトッパンフォームズと住民税収納業務を改善し、紙帳票からのデータ入力を外部委託による手作業から AI-OCR を活用した自治体職員によるワンストップ運用に切り替えました。この運用は、手書きと活字の両方に対応する京都電子計算の AI-OCR 技術と、さまざまな大きさと多岐にわたる形状の紙帳票を一つのラインで読み取ることができるようにした ABBYY ジャパンの AI-OCR 技術の融合で実現しました。

東京都 中野区	個人市町村民税 個人道府県民税 納入済通知書
市区町村コード	131148
口座番号	加入者名
指定番号	12345678
令和 4年 11月分	
納入金額	
給与分 (一括徴収含む)	1 0 0 0 0 0
退職所得分	2 0 0 0 0 0
延滞金	3 0 0 0 0 0
督促手数料	
合計額	¥ 1 2 3 0 0 0
納期限	令和 年 月 日
(特別徴収義務者)	
住所又は 所在地	〒
氏名又は 名称	
取りまとめ局	徴収日付印
道府県 (千)	局
上記のとおり通知します。	

中野区	中野区特別区民税・都民税(普通徴収分) 口座振替依頼書(自動払込利用申込書) 取 加
依頼先金融機関 御中	申込日 年 月 日
住所	電話番号(- -)
納税者氏名	
組合せ番号	送付金と下記の私の口座に振込 <input type="checkbox"/> 同意します <input type="checkbox"/> 同意しません
開始時期	振替方法 <input type="checkbox"/> 各期ごとに振替 <input type="checkbox"/> 1年分を一括で振替
納付書 控え 宛先	〒 番 号
口座 振替 方法	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> 口座 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> 振替
フリガナ	金融機関印
口座 名義人	
上記の特別徴収・特別徴収口座振替・自動払込の方法により完済するとし、納付書送付を要しません。	
振替申込日: 令和4年11月末日、12月末日、1月末日、2月末日、3月末日、4月末日、5月末日、6月末日、7月末日、8月末日、9月末日、10月末日、11月末日、12月末日	
上記を承認し、承認します。(不償還保証書)	印 取店店員印
年 月 日	1 現金取引なし 振込 振替特印
特別区会事務課 担当者	2 記載事項等相違 住所 振替特印
氏名	3 印鑑相違 口座番号 口座名義
印	4 その他()

フォーマットの異なる 100 種類以上の帳票を一気に読み取る運用が可能になった。

代表的な帳票の特別徴収納入済通知書（左）と口座振替依頼書（右）

【背景】

全国の地方自治体において、特別徴収納入済通知書（以下、特徴済通）消込業務は、民間企業に勤める従業者分、都道府県職員分、国家公務員分などカテゴリーごとに特徴済通のフォーマットが異なります。それに加えて金融機関から受領する特徴済通は、収納金融機関毎に書式が異なるうえに OCR ラインもないことから、1 件ずつ区の基幹システムに登録するためのデータを作成する以外の方法がありませんでした。

また、口座振替の申込みに必要な口座振替依頼書や還付金受取りの口座振込依頼書は手書き帳票となっており、データ入力の事前準備として、基幹システムに登録するためのデータレイアウトに合わせて、金融機関名・支店名等をコードに変換して帳票に補記する作業を 1 件ずつ行う必要がありました。

特徴済通、口座振替・振込依頼書ともに区職員が確認しながら 1 枚ずつ基幹システムへ登録する作業は非常に労力がかかるため、外部の入力専門業者に依頼して手入力（キーパンチ）によるデータ化業務を長年にわたって続けてきましたが、昨今の労働力減少、賃金上昇によるコストの増大が課題となっていました。

【本ソリューションの特長】

1. ヒアリングに基づき、特徴済通消込業務と口座情報登録業務の複雑な処理プロセスの運用をスリム化し、機能の異なる AI-OCR（手書き対応の「AI 手書き文字認識サービス」と活字非定型帳票対応の「ABBYY FlexiCapture」）を活用して自治体職員のワンストップ運用を実現
2. 口座情報登録業務と特徴済通消込業務の業務効率化は 25% のコスト削減
3. トップアンフォームズの帳票改善ソリューションによる手書き書類の見直しで AI-OCR の手書き文字の認識精度が向上
4. 京都電子計算の「AI 手書き文字認識サービス」は、LGWAN（総合行政ネットワーク）に対応。ABBYY ジャパンの「ABBYY FlexiCapture」は、オンプレミスで構築し高セキュリティ環境を提供

【今後の展開】

さまざまなサイズやフォーマットが混在し、手書きも含まれる紙帳票をワンストップでデータ化した本ソリューションにより、自治体業務の DX 化を実現することができました。本経験は「他の自治体でも参考にできる」と考えており、トップアンフォームズではセミナーや講演会などを通じて全国の地方自治体に伝え、自治体業務の DX 化をサポートしていく考えです。

以上

※ ABBYY、ABBYY ロゴは ABBYY Software Ltd の登録商標または商標です。

※ 記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

東京都中野区 区民部税務課 TEL:03-3228-8920

ABBYY ジャパン株式会社 TEL: 03-6823-8888

京都電子計算株式会社 企画営業本部 営業部 TEL:075-241-5552

トップアン・フォームズ株式会社 経営企画本部広報部 TEL:03-6253-5730